

付 録

県内各市町の主要統計表

主な統計調査の実施状況一覧表

歴代の市長・副市長

歴代の議長・副議長

年表 <防府市のあゆみ>

県 内 各 市 町 の

区 分	面 積	人 口			世 帯	事 業 所		農
市 町 名	(20.10.1)	国 勢 調 査 (17.10.1)			国 勢 調 査 (17.10.1)	(18.10.1)		
		総 数	男	女		事業所数	従業者数	経営体数
	km ²	人						
山 口 県	6 113.81	1 492 606	703 721	788 885	591 460	71 651	652 046	33 576
市 計	5 436.30	1 360 576	642 683	717 893	540 147	67 160	622 076	16 649
防 府 市	188.59	116 818	56 332	60 486	44 958	5 036	53 567	1 450
構 成 比 %	3.08	7.83	8.00	7.67	7.60	7.03	8.22	4.32
順 位 (市)	9 位	5 位	5 位	5 位	5 位	6 位	6 位	5 位
下 関 市	716.06	290 693	134 741	155 952	117 436	13 319	120 609	2 003
宇 部 市	287.71	178 955	85 444	93 511	71 288	7 321	78 064	1 804
山 口 市	730.23	191 677	91 263	100 414	76 974	9 549	94 951	3 307
萩 市	698.79	57 990	26 545	31 445	23 093	3 779	24 104	865
下 松 市	89.36	53 509	25 711	27 798	21 127	2 583	26 185	285
岩 国 市	873.78	103 507	49 240	54 267	42 278	7 218	58 962	621
小 野 田 市	—	—	—	—	—	—	—	181
光 市	91.94	53 971	25 542	28 429	20 519	2 112	20 068	659
長 門 市	357.92	41 127	18 789	22 338	15 455	2 195	16 980	715
柳 井 市	139.90	35 927	16 556	19 371	14 504	2 179	16 368	1 214
美 祢 市	472.71	17 754	8 286	9 468	6 507	906	8 071	1 129
周 南 市	656.32	152 387	73 058	79 329	60 672	8 393	77 426	2 416
山陽小野田市	132.99	66 261	31 176	35 085	25 336	2 570	26 721	—
町 村 計	677.51	132 030	61 038	70 992	51 313	4 491	29 970	16 927
徳 地 町	—	—	—	—	—	—	—	1 018
秋 穂 町	—	—	—	—	—	—	—	348
小 郡 町	—	—	—	—	—	—	—	155
阿知須町	—	—	—	—	—	—	—	336
美 東 町	—	6 114	2 803	3 311	2 019	322	2 496	669
秋 芳 町	—	5 971	2 735	3 236	2 120	346	1 784	728
阿 東 町	293.08	7 620	3 494	4 126	2 935	466	2 567	1 311

注) 順位は県内の市の中での順位。町は広域市町村圏内のみ掲載。

主 要 統 計 表

業 (17. 2. 1)	商 業 [卸・小売] (19. 6. 1)			製 造 業 [従業員 4人以上] (20. 12. 31)		
経営耕地面積	事業所数	従業員数	年 間 商品販売額	事業所数	従業員数	製 造 品 出 荷 額 等
a		人	万円		人	万円
3 451 957	20 010	124 572	354 866 322	2 310	102 935	711 830 793
1 532 106	18 705	119 227	347 296 081	2 166	97 839	688 685 967
136 489	1 414	9 697	26 958 148	168	13 721	126 626 868
3. 95	7. 07	7. 78	7. 60	7. 27	13. 33	17. 79
5 位	6 位	6 位	6 位	6 位	2 位	2 位
197 897	3 904	24 488	68 051 891	476	18 146	64 767 255
182 109	2 061	15 456	46 985 249	234	11 158	54 850 057
354 776	2 552	18 926	71 446 961	204	6 405	19 371 751
78 301	1 117	4 946	8 634 529	136	2 118	2 279 142
16 552	809	5 692	19 278 253	108	6 647	27 273 948
37 789	1 924	11 210	30 388 972	197	7 953	34 183 898
21 889	—	—	—	—	—	—
50 438	586	3 726	12 177 887	76	6 127	58 966 573
66 101	665	3 080	5 111 189	126	2 353	4 809 310
106 333	615	3 616	7 723 427	58	1 736	3 645 849
112 682	237	1 168	1 659 236	76	3 334	12 091 159
170 750	2 104	12 995	39 046 005	201	11 640	195 151 491
—	717	4 227	9 834 334	106	6 501	84 668 666
1 919 851	1 305	5 345	7 570 241	144	5 096	23 144 826
83 710	—	—	—	—	—	—
45 407	—	—	—	—	—	—
13 792	—	—	—	—	—	—
34 955	—	—	—	—	—	—
88 961	92	500	652 316	—	—	—
110 303	106	394	335 222	—	—	—
207 990	138	607	1 022 307	11	181	248 412

主 な 統 計 調 査 の

調 査 の 名 称	実 施 省 庁	調 査 方 法	調 査 期 日	実 施 年 度						
				H18	19	20	21	22	23	24
国 勢 調 査	総 務 省	全 数	10月 1日				△	◎		
住 宅 ・ 土 地 統 計 調 査	総 務 省	標 本	10月 1日		△	◎				△
就 業 構 造 基 本 調 査	総 務 省	標 本	10月 1日		◎					◎
全 国 消 費 実 態 調 査	総 務 省	標 本	9 ～11月				◎			
全 国 物 価 統 計 調 査	総 務 省	標 本	11月		◎					◎
経 済 セ ン サ ス ー 基 礎 調 査	総 務 省	全 数	7月 1日			△	◎			
経 済 セ ン サ ス ー 活 動 調 査	総 務 省	全 数	2月 1日						◎	
学 校 基 本 調 査	文 部 科 学 省	全 数	5月 1日	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
工 業 統 計 調 査	経 済 産 業 省	全 数	12月31日	◎	◎	◎	◎	◎	(◎)	◎
商 業 統 計 調 査	経 済 産 業 省	全 数	6月 1日	▽	◎				(◎)	
農 (林) 業 セ ン サ ス	農 林 水 産 省	全 数	2月 1日				◎			
漁 業 セ ン サ ス	農 林 水 産 省	全 数	11月 1日			◎				
事 業 所 ・ 企 業 統 計 調 査	総 務 省	全 数	10月 1日	◎		(△)	(◎)		(◎)	
サ ー ビ ス 業 基 本 調 査	総 務 省	標 本	11月 1日						(◎)	

◎……調査 △……調査区、単位区設定 ▽……準備
 (◎) (△)は経済センサスにおいて引き続き調査

実 施 状 況 一 覧 表

調	査	事	項	等
男女の別、出生の年月、就業状態、仕事の種類、従業地又は通学地、住居の種類など				
住宅・世帯の居住状況及び所有関係など				
就業不就業の状態、事業の種類、仕事の種類、就業時間など				
勤労者世帯の収入・支出など				
事業所に関する事項、価格金額など				
所在地、従業者数、事業の種類、開設時期、経営組織、資本金など				
所在地、従業者数、事業の種類、開設時期、経営組織、資本金など				
学校数、学級数、生徒数及び教員数など				
従業者数、現金給与総額、製造品出荷額など				
事業所数、従業者数、年間商品販売額など				
農家世帯員の状態、農業雇用労働、農業用地、農業生産物など				
漁業経営の状況、漁業種類、操業日数、漁船数、漁獲物など				
所在地、経営組織、形態、開設時期、事業の種類、企業の資本金など				
所在地、経営組織及び資本金額、収入金額、経費総額など				

歴代の市長・副市長

< 市 長 >

代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	武 光 一 S	11.12. 3	S 12.12. 3	11	鈴 木 覚	43.11.27	55.11.26
2	浮 田 茂太郎	13. 3. 5	15. 6.14	12	原 田 孝 三	55.11.27	63.11.26
3	山 本 芳 輔	15. 7.18	19. 7.17	13	吉 井 惇 一	63.11.27 H	10. 5.18
4	村 田 信 乃	19. 7.23	20.11. 7	14	松 浦 正 人 H	10. 6.21	
5	森 川 親 友	20.12.10	22. 2. 3				
6	宮 地 良 三	22. 4.16	26. 4.15				
7	中 司 菊 治	26. 5.12	27.11.10				
8	長 嶋 紀 一	27.11.27	35.11.26				
9	高 安 彦	35.11.27	39.11.26				
10	秋 本 武	39.11.27	43.11.26				

< 副 市 長 >

代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	中 司 菊 治 S	11.12.14	S 13. 4.23	16	藤 井 久 治	48. 7.18	54. 3. 1
2	内 田 虎 一	11.12.14	13. 4. 1	17	高 橋 章 仁	54. 3. 7	56. 6.15
3	山 田 与 作	13. 7.22	17. 7.21	18	福 田 速 水	54. 3. 7	58. 3. 6
4	田 中 富士道	14. 4. 8	14.11.14	19	中 原 泉	56. 6.23	60. 6.22
5	片 山 泰 三	17. 9. 3	21.12. 2	20	藤 本 利 治	60. 6.25 H	元. 3.31
6	藤 井 年 光	21. 5. 4	25. 5. 3	21	歳 弘 克 己 H	元. 4. 1	9. 3.31
7	平 下 証	24. 7. 1	27.11.10	22	脇 村 博 夫	9. 4. 1	10. 7.31
8	藤 井 年 光	25. 5. 4	28. 1.31	23	土 井 章	10. 8. 1	18. 3.31
9	桑 原 政 夫	28. 2. 1	31.12.15	24	嘉 村 悦 男	18. 6.26	
10	河 上 正 雄	30.10.10	31.11.26				
11	村 中 庄 太	31.12.19	35.12.18				
12	淵 上 博	35.12.25	39.12.24				
13	大久保 英 夫	40. 1. 9	41. 6.22				
14	歳 弘 英 雄	41. 6.23	44. 5.28				
15	河 崎 洋 三	44. 7.18	52. 7.17				

※ 平成19年3月31日以前は助役

< 収 入 役 >

代	氏 名	就任年月日	退任年月日	代	氏 名	就任年月日	退任年月日
初代	尾 中 彦二郎 S	11.12.14	S 14.11.11	11	河 村 圭 二	54. 3. 7	58. 3. 6
2	金 子 良 重	14.12.14	15. 3. 2	12	永 田 弘 毅	58. 3.22	62. 3.21
3	上 村 源太郎	15. 4. 1	28. 1.21	13	桂 寿 夫	62. 3.25 H	3. 3.24
4	尾 中 源 一	28. 1.22	32. 1.21	14	小 川 正 良 H	3. 3.25	9. 3.31
5	中 村 敏 夫	32. 1.22	36. 1.21	15	大 村 崇 治	9. 4. 1	10. 7.31
6	田 中 賢 治	36. 1.22	40. 1.21	16	関 誠	10. 8. 1	14. 7.31
7	原 田 正 己	40. 3.13	44. 3.12	17	林 甫	14. 8. 1	18. 7.31
8	河 崎 洋 三	44. 3.28	44. 7.17				
9	原 田 薫	44. 7.18	53.11. 6				
10	高 橋 章 仁	53.11. 7	54. 3. 6				

※ 平成19年3月31日をもって収入役を廃止

歴代の議長・副議長

< 議長 >

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	武光一	S 11.10.19	S 11.12. 3	21	国弘忠克	49.12. 3	51.11.26
2	安田健一	11.12. 3	17. 8.31	22	田中宏二	51.12. 7	53.12. 4
3	阿部治郎	17.11. 4	22. 4.29	23	吉武滋郎	53.12. 4	55.11.26
4	宮本時房	22. 5.16	26. 3.30	24	島田明	55.12. 8	57.12. 8
5	吉武繁	26. 3.31	26. 4.29	25	加留部正久	57.12. 8	59.11.26
6	中村茂喜	26. 5.17	27. 8.19	26	清水義治	59.12. 5	61.12. 9
7	澄川健一	27. 8.19	27.10.31	27	松本茂	61.12. 9	63.11.26
8	時政鐵之助	27.12.15	29.12. 8	28	渋谷正	63.12. 5 H	2.12. 6
9	藤本作一	29.12. 8	31. 9.16	29	久保玄爾	H 2.12. 6	4.11.26
10	中村茂喜	31. 9.28	31.11.26	30	重田好一	4.12. 4	6.12. 6
11	中村晟	31.12. 4	33.11.17	31	重田好一	6.12. 6	8.11.26
12	山本重喜	33.11.17	35.11.26	32	笹井幸弘	8.12. 4	10.12. 3
13	山本重喜	35.12. 5	37.11.26	33	河村龍夫	10.12. 3	12.11.26
14	中島増太郎	37.11.26	38.12.21	34	久保玄爾	12.12. 5	14.12. 6
15	澤田四郎	38.12.21	39.11.26	35	中司実	14.12. 6	16.11.26
16	伊藤盛次	39.12. 5	42. 8.12	36	久保玄爾	16.12. 3	18.12. 4
17	中島増太郎	42. 8.12	43.11.26	37	行重延昭	18.12. 4	20.11.26
18	久和勘治郎	43.12. 5	46. 3.13	38	行重延昭	20.12. 3	
19	松田定	46. 3.13	47.11.26				
20	笹井武夫	47.12. 5	49.12. 3				

< 副議長 >

代	氏名	就任年月日	退任年月日	代	氏名	就任年月日	退任年月日
初代	中司菊治	S 11.10.19	S 11.11.14	27	松本茂	59.12. 5	60.12.10
2	阿部法一	11.12. 3	15.10. 6	28	種田武	60.12.10	61.12. 9
3	柳義雄	15.11. 6	17.11. 4	29	植木三夫	61.12. 9	63.11.26
4	石川七之助	17.11. 4	22. 4.29	30	杉本茂	63.12. 5 H	元.12.12
5	島田教治	22. 5.16	26. 3.30	31	玉木章	H 元.12.12	2.12. 6
6	時政鐵之助	26. 5.17	26. 8.19	32	植木三夫	2.12. 6	3.12. 5
7	徳永安雄	26. 9.14	27. 8.19	33	重田好一	3.12. 5	4.11.26
8	久和勘治郎	27. 8.19	27.10.30	34	河村龍夫	4.12. 4	5.12. 7
9	藤井幸吉	27.12.15	28.12. 5	35	川崎勇	5.12. 7	6.12. 6
10	山本重喜	28.12. 5	29.12. 8	36	青木岩夫	6.12. 6	7.12. 5
11	広政定一	29.12. 8	31.11.26	37	吉岡保彦	7.12. 5	8.11.26
12	久和勘治郎	31.12. 4	33.11.17	38	宮川豊	8.12. 4	9.12. 4
13	澤田四郎	33.11.17	35.11.26	39	河村龍夫	9.12. 4	10.12. 3
14	中島増太郎	35.12. 5	37.11.26	40	阿座上繁正	10.12. 3	11.12. 2
15	越智庄作	37.11.26	38.12.21	41	佐鹿博敏	11.12. 2	12.11.26
16	末富忠雄	38.12.21	39.11.26	42	藤井正二	12.12. 5	13.12. 7
17	松田定	39.12. 5	42. 3.27	43	深田慎治	13.12. 7	14.12. 6
18	小林敏雄	42. 3.27	43.11.26	44	横見進	14.12. 6	15.12. 5
19	笹井武夫	43.12. 5	45.12.17	45	田中敏靖	15.12. 5	16.11.26
20	玉木盛之	45.12.17	47.11.26	46	今津誠一	16.12. 3	17.12. 5
21	国弘忠克	47.12. 5	49.12. 3	47	行重延昭	17.12. 5	18.12. 4
22	吉武滋郎	49.12. 3	51.11.26	48	河杉憲二	18.12. 4	19.12. 3
23	島田明	51.12. 7	53.12. 4	49	原田洋介	19.12. 3	20.11.26
24	田中義規	53.12. 4	55.11.26	50	安藤二郎	20.12. 3	21.12. 2
25	加留部正久	55.12. 8	57.12. 8	51	松村学	21.12. 2	
26	清水義治	57.12. 8	59.11.26				

年表＜防府市のあゆみ＞

西暦	元号	出 来 事
2500～3000年前		縄文時代晩期に、右田や小野で集落が営まれる
2000年頃前		井上山や大崎などで高地性の集落が営まれる
600年頃		車塚古墳や大日古墳など古墳時代後期の方後円墳が造られる
603 推古天皇		新羅征討將軍来目皇子（聖徳太子の弟）筑紫で薨ず。 遺骸を周防娑婆に仮埋葬する（日本書紀）
11年		
646 大化 2年		孝徳天皇、大化の改新の詔を発する（日本書紀）
650 700 年頃		律令国家体制が確立されていく。その過程で地方に国郡制が施かれ、周防の国府が娑婆の地に置かれる
741 天平13年		聖武天皇、詔して諸国に国分寺、国分尼寺を建立せしむ。周防国分寺は、東佐波令（国分寺町）に現存する
901 延喜元年		菅原道真左遷され、太宰府に下る途中、勝間の浦に立ち寄る
904 延喜 4年		国司土師信貞、松ヶ崎に社（防府天満宮）を建て道真の霊をまつる
974 天延元年		清少納言の父、清原元輔が周防の国司として赴任する
1186 文治 2年		周防国が東大寺造営料国となり、俊乗房重源が国務を管理。重源は東大寺造営の用材を出すため佐波川を遡上し、徳地の杣山に入る
1187 文治 3年		重源、牟礼山麓を開発し阿弥陀寺を建立、後白河法皇のご祈願所とする
1195 建久 6年		重源、東大寺落慶法要後、周防一の宮玉祖神社・松崎神社を造替する
1197 建久 8年		重源、阿弥陀寺に鉄宝塔を奉納する
1311 応長元年		松崎天神縁起がつくられる
1319 元応元年		宮市兄弟五郎太郎を合物座長職とし、東は富田市、西は賀河（嘉川）市、北は大内並びに得地（徳地）市を限り、合物商人らをその支配下におき、宮市は合物座によって長く商業が栄える
1336 延元元年		国衛の役人清尊・教乗ら足利尊氏に敵対し、敷山駿観寺に挙兵するが戦死する
1358 正平13年		大内弘世が厚東氏を滅ぼし、防長両国を統一する
1365 正平20年		大内弘世、松崎天満宮を再建する
1389 元中 6年		將軍足利義満厳島に参詣し、次いで九州に下向する途中、三田尻高州の松原に着く。 大内義弘、旅館を新造しもてなす
1417 応永24年		周防国分寺火災により焼失する
1503 文亀 3年		周防国分寺の金堂・舍利殿・仁王門が再建される
1530 享禄 3年		大内義隆、松崎天満宮を再建する
1551 天文20年		陶隆房（晴賢）、大内義隆にそむき、防府より山口に攻め入る。 義隆長門市大寧寺で自害する
1555 弘治元年		毛利元就、陶晴賢を厳島で討ち、軍を防長に進める
1557 弘治 3年		毛利元就父子、大内義長討伐のため、本陣を天満宮社坊大専坊に構える
1569 永禄12年		大内輝弘、秋穂浦に上陸し山口に攻め入る。敗れて牟礼の浮野峠にいたり、茶臼山で自害する
1592 文禄元年		豊臣秀吉、朝鮮出兵のため九州に下向する途中、松崎天満宮に詣でて戦勝を祈願する
1596 慶長元年		毛利輝元、国分寺仁王門を再建する
1611 慶長16年		毛利輝元、毛利水軍の根拠地を三田尻に定め、ここに御船倉を置く。 次いで、町割りをし、三田尻町が形成される
1625 寛永 2年		毛利元俱、領地替えて、熊毛町三丘から右田に移り、右田・小野・牟礼を領有する
1628 寛永 5年		右田の毛利元俱、文武道場を創立し時観園と称する 潮合開作が築き立てられ、田島が陸続きとなる
1642 寛永19年		酒造業兄部家を宮市本陣と定める
1650 慶安 3年		防長両国内を18宰判（行政区）に分ち、三田尻宰判が置かれる。勘場（代官所）を三田尻に設ける
1654 承応 3年		毛利綱広、三田尻に藩の公館御茶屋（英雲荘）を新築する

西暦	元号	出 来 事
1699	元禄12年	三田尻大開作が築き立てられ、その一部を入浜塩田（古浜）とし、次いで鶴浜・大浜塩田が築立され、一大塩業地となり中関が港町として発展する
1719	享保 4年	1688年のころから河野養哲の私塾越氏塾が開かれ、この年、養哲の家宅を免租地とし文学素読の指南に尽力させる（後に明倫館の附属となる）
1732	享保17年	虫害により防長両国大飢饉、防府で飢人15,000人に及ぶ
1768	明和 5年	小郡及び三田尻宰判の塩業地を管轄する中関宰判が置かれる
1769	明和 6年	江泊塩田築き立てられる
1771	明和 8年	田中藤六が製塩三八換持法を瀬戸内の諸浜で遊説し、塩業不況を立て直す。 また三田尻浜大会所を設け、防長両国の塩業を統轄する
1783	天明 3年	毛利重就、三田尻御茶屋に隠棲し、三田尻御殿と称する
1784	天明 4年	西浦前ヶ浜塩田築き立てられ、三田尻6ヶ所浜ができ上がる
1787	天明 7年	毛利重就、国分寺金堂を再建する
1800	寛政12年	幕府、三田尻塩を蝦夷地御用塩として買い上げる
1824	文政 7年	西浦新開作潮止めする
1828	文政11年	未曾有の大風で、人家 2,670余軒倒壊する
1831	天保 2年	三田尻宰判で百姓一揆が起こり、県下の諸郡に及ぶ大一揆となる
1837	天保 8年	飢饉となり、捨子や行き倒れが数多く出る
1863	文久 3年	京都の政変により、三条実美ら長州派公家追放され、三田尻御茶屋に着く 萩から山口に移鎮した毛利敬親、山口防衛のため勝坂に関門を設け、砲台を構築する
1864	元治元年	越氏塾のあとの三田尻学習堂を講習堂と改称する
1865	慶応元年	海軍学校を三田尻に設置する
1866	慶応 2年	毛利敬親父子及び吉川監物、三田尻において英国キング提督と会見する 四境戦争において、三田尻の御楯隊、一新組芸州口で戦う
1867	慶応 3年	毛利元徳、薩摩藩主島津忠義と三田尻で会見し討幕出兵を協議する。 11月、討幕出兵の全軍鞠生松原に会し、小田浦から軍艦で海路進発する
1870	明治 3年	脱退騒動の戦火により、右田で天徳寺・民家20数戸焼失
1871	明治 4年	三田尻・宮市に郵便取扱所（後の郵便局）が設けられ、郵便物の引受、配達業務を始める
1873	明治 6年	学制発布により、寺院・民家等を借用して小学校が設立される 行政区画が改正され、大小区制により防府市域は第9大区に属す
1874	明治 7年	県立山口病院を三田尻に移し、華浦病院と改称し、華浦医学校を設立
1875	明治 8年	三田尻郵便取扱所が三田尻郵便局と改称される 柏木幸助が、安全マッチの製造に成功 佐波川に木橋が架橋され、新橋と命名
1876	明治 9年	山口警察出張所三田尻屯所が置かれる
1877	明治10年	私立周陽学舎（防府高校の前身）が野崎（新天地）に設立される 山陽道の浮野峠・佐野峠廃止され、末田及び遠ヶ崎線が開通
1878	明治11年	三田尻村下岡村に電信局が創設され、電報事務取扱を始める 大小区制が廃止され、旧来の郡・町村に復する。佐波郡役所を三田尻に置く
1879	明治12年	大道村旦浦、上田開作築立 三田尻・宮市に消防組が設置される 西洋型帆船（500トン）を建造し、全国各地に食塩を輸送
1881	明治14年	この年本市で人力車 230余台を数える また、山口・堀・津和野に至る路線に乗合馬車が営業される
1883	明治16年	柏木幸助が検温器の製造を開始する 県立華浦医学校廃校

西暦	元号	出 来 事
1886	明治19年	三田尻警察署発足
1887	明治20年	三田尻登記所が置かれる 山口街道に佐波山洞道完成 この頃、自転車が普及しはじめる
1889	明治22年	市制・町村制が施行され、旧町村は大字として存置される 華浦組（華浦銀行の前身）が設立される
1892	明治25年	三田尻郵便局が三田尻郵便電信局と改称
1893	明治26年	三田尻港の突堤完工
1894	明治27年	中関に三田尻製塩売捌所が設立される
1896	明治29年	中関に塩田貯蓄銀行が設立される 宮市銀行が設立される
1898	明治31年	山陽鉄道徳山～三田尻間が開通し、三田尻駅が営業開始
1900	明治33年	山陽鉄道三田尻～厚狭間開通
1901	明治34年	水稻正条植が奨励され、右田式田植法として知られる 山陽鉄道が全線開通
1902	明治35年	佐波村と三田尻村が合併し、防府町誕生 曹洞宗第4中学林（多々良高校の前身）が設立される
1903	明治36年	柏木幸助が、「柏木ジアスターゼ」を製造販売
1904	明治37年	三田尻郵便電信局が車塚に移転し、防府郵便局と改称
1905	明治38年	三田尻塩務局が設置される
1908	明治41年	山口県蚕糸試験場が西佐波令に創設される（昭和19年4月閉鎖）
1909	明治42年	佐波郡立高等女学校開校 防府郵便局内に電話交換事務が開始され、管内加入電話 160機が通話を開始 日本専売公社防府製塩試験場設置（昭和35年塩田廃止に伴い閉鎖）
1910	明治43年	防府電灯(株)が設立され、この年初めて電灯がともる 福永章一が、初めて足踏回転脱穀機を考案し、これが各地に普及
1913	大正 2年	防府ガス(株)開業
1914	大正 3年	三田尻～山口米屋町間で乗合自動車の営業開始 石三軽便鉄道（防石鉄道）(株)設立
1916	大正 5年	毛利邸及び庭園が完成
1918	大正 7年	向島製塩工場（日本専売公社防府工場）設置（昭和35年塩田廃止に伴い閉鎖） 佐波川大洪水により新橋が流失する等佐波川水系に大被害を受けるとともに暴風雨による被害が各地区に出る 富海・中関で米騒動起こる
1919	大正 8年	防石鉄道三田尻～上和字間の営業開始
1920	大正 9年	防石鉄道上和字～堀間が開通 第1回国勢調査
1921	大正10年	佐波川架橋の「新橋」を鋼橋に架けかえ
1923	大正12年	中国護謄(株)（後に大日本護謄(株)）設立
1924	大正13年	防府体育協会結成（昭和17年6月防府市体育協会と改称）
1925	大正14年	第2回国勢調査
1926	大正15年	国鉄富海～三田尻間の複線工事竣工 佐波郡役所が廃庁される 中関村が、町制を施く

西暦	元号	出 来 事
1927	昭和 2年	私立三田尻高等女学校が開校 防府電灯(株)が、県に買収され県営電気として配電される
1928	昭和 3年	三田尻駅構内にあった三田尻機関庫が小郡駅に移転
1929	昭和 4年	町立防府商業学校が開校
1930	昭和 5年	寿酒造(株)創設（昭和15年に、宝酒造(株)防府工場となり、平成 7 年 3 月工場閉鎖） 国鉄三田尻～大道間の複線工事竣工 第 3 回国勢調査 防府郵便局の新庁舎が完成し移転
1931	昭和 6年	国鉄バス三田尻～山口間の営業開始
1933	昭和 8年	福島人絹(株)人絹工場設置（昭和24年 7 月協和醗酵工業(株)となる）
1934	昭和 9年	鐘ヶ淵紡績(株)防府工場の建設が決定され昭和11年 5 月から操業開始 （昭和25年 7 月鐘紡(株)防府工場となる） 農民道場（山口県農業大学の前身）が牟礼に設置される
1935	昭和10年	第 4 回国勢調査
1936	昭和11年 4月	佐波小学校開校 8月 防府町・中関町・華城村・牟礼村の二町二村が合併し、25日に市制施行
1938	昭和13年10月	防府保健所が県内最初の保健所として開設される（防府環境保健所） 駅通りに防府で初めての百貨店、前田百貨店がオープン
1939	昭和14年 5月	山口県種鶏場が牟礼本部に完成 11月 西浦村を 3 日に編入
1940	昭和15年 2月	市議会議事堂が車塚に完成 10月 第 5 回国勢調査。世帯数12, 272、人口58, 890人
1941	昭和16年 4月	上山満之進の寄付により、市立三哲文庫（防府図書館）開設 NHK防府放送局開設、放送開始 8月 佐波川の名橋「舟橋」を廃し、その下手に木橋「本橋」を架橋 11月 市制施行 5 周年記念式典
1942	昭和17年 8月	台風による高潮で海岸の堤防が決壊し、大きな被害を受ける 11月 中関に海軍通信学校が設置される
1943	昭和18年 2月	一般家庭からの金属回収が行われる 8月 学徒動員令により、工場に動員される
1944	昭和19年 5月	防府飛行場に陸軍航空隊設置
1945	昭和20年 7月	米軍機、鐘紡などを機銃掃射する 10月 占領軍、海軍通信学校及び陸軍飛行場を接收し駐留
1946	昭和21年 8月	日本セルローが鐘紡を借用し設立される 9月 防府市選挙管理委員会設置
1947	昭和22年 4月	最初の公選市長選挙が行われ、決戦投票の結果、宮地良三氏が市長となる 6・3・3・4 制となり、新制中学校が小学校に併設され開校 7月 防府市連合婦人会結成 10月 第 6 回国勢調査。世帯数15, 168、人口67, 182人 市制施行10周年記念式典
1948	昭和23年 4月	華陽中学校開校 10月 野島～三田尻間の連絡船として、共同丸就航

西暦	元号	出	来	事
1949	昭和24年	4月	佐波中学校開校	車塚の日本医療団山口県中央病院が県に移管され、山口県総合病院として発足
		9月	防府競輪場開設	
		11月	防府ユネスコ協会結成	
1950	昭和25年	3月	市営野球場完成	
		7月	市広報第1号発刊	
		8月	向島錦橋完工	
		10月	第7回国勢調査。世帯数15,063、人口71,065人	
1951	昭和26年	1月	新田小学校開校	
		4月	右田村を1日に編入	防府市社会福祉協議会設置
		7月	上水道の給水を一部開始	集中豪雨により佐波川水域を中心に未曾有の被害を受ける
		10月	三笠宮殿下を迎え、第6回国民体育大会の自転車競技を開催	
1952	昭和27年	3月	市制施行15周年記念式典	
		4月	華西中学校開校	防府天満宮焼失（昭和38年9月再建）
		8月	佐波川ダム起工（昭和31年4月完成）	
		11月	防府市教育委員会設置	
1953	昭和28年	4月	上右田田ノロの八右衛門谷から出火し、山林百数十町歩を焼失	
		7月	佐波川大橋竣工	
		9月	山口県立中央病院が八王子二丁目に新築移転し、開院	
		10月	第1回防府みなと祭	
		12月	昭和製袋工業(株)防府工場が設置され、昭和29年4月から操業開始（昭和パックス(株)防府工場）	
1954	昭和29年	2月	防府市新庁舎開庁	
		4月	富海村を1日に編入	国府中学校開校
		12月	航空自衛隊防府基地設置	
1955	昭和30年	4月	勝間小学校開校	小野村、大道村を10日に編入
		5月	岸津にごみ焼却場完成	
		10月	第8回国勢調査。世帯数20,647、人口96,821人	
1956	昭和31年	2月	人丸橋完工	
		4月	天皇、皇后両陛下をお迎えして矢筈ヶ岳で植樹祭が行われる	市制施行20周年記念式典
			向島の錦山に無線中継所完成	
		5月	大崎橋完工	
1957	昭和32年	1月	三田尻百間沖埋立工事開始（昭和46年竣工）	
		11月	光田健輔氏を迎え名誉市民推挙式、胸像除幕式を挙行	
1958	昭和33年	4月	桑山中学校開校	西浦にバス開通
		8月	天神町と駅通りとの交差点に初めての自動信号機が設置される	
		11月	公共下水道事業に着工	

西暦	元号	出	来	事
1959	昭和34年	2月	国道 262号線の佐波川架橋「新橋」完成し、3月13日に完工式	
		3月	大平山ロープウェイ開設 山口県営防府総合用水堰完成	
		5月	柏木体温計(株)が工場閉鎖	
		6月	三田尻港が重要港湾に指定される 久兼にバス開通 NHK防府テレビ放送局の中継所が大平山に設置され開局	
		10月	防府市労働会館落成式	
1960	昭和35年	1月	塩田が全面的に廃止される	
		8月	航空自衛隊防府北基地発足	
		10月	第9回国勢調査。世帯数21,952、人口94,513人 向島製塩工場がたばこ中骨工場に転換 防府市公会堂落成	
1961	昭和36年	4月	史跡周防国衙跡緊急発掘調査開始	
		5月	海洋民俗資料収蔵庫完成	
		6月	市庁舎別館完工（現3号館）	
		8月	防府電報電話局の新築局舎完成。新局舎に9月移転し、自動式の電話交換を開始	
		9月	市制施行25周年記念式典	
1962	昭和37年	3月	NHK防府放送局が山口市に移転	
		10月	第1回防府産業祭	
		11月	国鉄三田尻駅を防府駅に改称	
1963	昭和38年	1月	数十年ぶりの寒さで、大平山でも1m近くの積雪があり、スキーで賑わう	
		6月	鐘紡(株)防府ナイロン工場設置	
		8月	民間航空路線（防府～広島）開設される（昭和39年無期運休）	
		9月	「市民の誓い」「市民の歌」が制定され発表会を行う	
		10月	新しい火葬場が完成し、使用開始 第18回国民体育大会秋季大会開催される	
1964	昭和39年	6月	防石鉄道(株)が、鉄道運輸営業（防府～堀間）を廃止	
		9月	周南地区が工業整備特別地域に指定される	
		10月	広島～小郡間の電化の完成により、山陽本線全線の電化が完成	
		11月	防府市工業用水道の通水開始 佐波川干拓大道工区の潮止式	
1965	昭和40年	4月	地積調査を西浦から開始	
		10月	第10回国勢調査。世帯数24,008、人口94,342人	
		11月	佐波川干拓西浦工区の潮止式 農業構造改善事業で、西浦・牟礼・富海地区に基幹農道が完成	
1966	昭和41年	1月	防府市し尿処理場完成	
		3月	築地作業所が完成し、完工式を行う 佐波小学校前の横断陸橋完成（市内初） 西浦塩田跡地を山口県が買収 久兼・奥畑・真尾・切畑4分校廃止	
		4月	三田尻中関港が開港指定される 佐波川が一級河川に指定される 野島航路を運営する(有)野島海運（市・漁協出資）設立	
		5月	日瀝化学工業(株)が古浜塩田跡地に進出決定（ニチレキ(株)）	

西暦	元号	出	来	事
	昭和41年	7月		日本専売公社防府原料工場が百間埋立地に進出決定し、昭和44年10月から操業開始 (日本たばこ産業(株)防府工場)
		9月		浜子うた保存会が設立され、その保存顕彰発表会が行われる
		10月		市制施行30周年記念式典
1967	昭和42年	1月		山口工業短期大学が大道繁枝に設立認可され、4月発足
		3月		防府市教育委員会が、国衛跡緊急学術調査の結果をまとめ、「周防の国衛」を出版
		4月		防府市第1隣保館(宮市福祉センター)開館 日本特殊農薬製造(株)が百間埋立地に進出決定、昭和43年10月から操業開始。 (日本バイエルアグロケム(株)防府工場)
		6月		防府保健所の新庁舎完成(防府健康福祉センター)
		9月		三田尻中関港が木材輸入特定港に指定される 右田西目山火災、3日間燃え続く(焼失面積 439ha)
		12月		防府市ごみ焼却場完成
1968	昭和43年	3月		山手都市下水路完工
		4月		市民交通災害共済制度発足 山口県立防府養護学校開校
		6月		防府おどりの発表会を、防府市公会堂で開催
		10月		三田尻港が穀類輸入準特定港に指定される
		11月		鐘紡(株)防府ナイロン工場が鐘紡(株)防府合織工場と改称
1969	昭和44年	3月		市公設青果物卸売市場完成 県営金波堰用水改良事業完工
		5月		三田尻中関港が、植物防疫法施行規則一部改正に伴い、輸入場所に指定される
		7月		都市計画法による政令都市に指定される 赤間大橋完成
		10月		専売公社防府原料工場が、百間沖埋立地で操業開始
1970	昭和45年	2月		防府市マラソンコース(防府市右田高井～佐波郡徳地町下畑折返し42.195Km)が 日本陸上競技連盟から公認される
		3月		東海カーボン(株)が中関4ノ舩に、ブリヂストン(株)が中関1・2ノ舩に進出決定
		5月		野島航路に新造船すおう丸就航
		7月		防府、山口地区(防府、山口、秋穂、小郡、徳地、阿東、秋芳、美東)が 広域市町村圏に指定される 防府の文化を高める会発足
		8月		三田尻港水域にかかる水質等の基準が設置される(昭和46年2月施行)
		10月		第11回国勢調査。世帯数26,595、人口97,009人 防府市第2隣保館(右田福祉センター)開館 (株)西部リトレッドセンターが大道に進出決定(ブリヂストンSRC(株))
		12月		第1回防府読売マラソン大会開催
1971	昭和46年	3月		公害対策審議会発足
		4月		宇部興産飲料(株)が上右田に進出決定 (株)ビバックス防府工場、平成16年 日本果実工業(株)へ) 山口県立衛生看護学院開校 防府警察署が市役所前に完成 交通安全モデル都市宣言
		7月		広島県吉田町と姉妹都市縁組みを結ぶ 新佐波山トンネル開通
		10月		市制施行35周年記念式典

西暦	元号	出	来	事
1972	昭和47年	1月	老人医療の無料化実施	
		2月	右田ライスセンター完成	
		3月	専売公社防府製塩試験場閉場 「やはず園」が岩島に完成移転	
		4月	東洋工業(株)防府工場の進出決定（マツダ(株)防府工場）	
		6月	防府市文化福祉会館完成	
		9月	(財)防府スポーツセンター設立	
		11月	用途地域の素案決まる	
1973	昭和48年	3月	新用途地域決まる 市の木に「サンゴジュ」、花に「サルビア」、花木に「梅」決まる 史跡周防国衙及び右田一丁田史跡発掘調査 農業振興地域に決まる	
		4月	中関公民館・学習等供用会館開館 宮市保育所開所 20年後を目指して、市開発基本構想まとまる	
		5月	右田に育苗センター完成	
		9月	佐波山トンネル（上り車線）開通	
		11月	各地区で農用地区設定説明会と除外申請の受付	
1974	昭和49年	1月	市献血推進協議会発足 経済情勢悪化で、セメント・灯油などを公共団体が斡旋	
		2月	ちり紙・トイレットペーパーなどの標準価格決まる	
		3月	(財) 防府スポーツセンター体育館完成	
		4月	人権モデル地区に指定される 県植樹祭、西目山で行われる	
		5月	市休日診療所オープン 特別養護老人ホームあかり園開園	
		7月	西浦公民館・学習等供用会館開館	
		8月	乳児健康診査無料制度開始 第1回市民水泳大会、国府中で開催	
		9月	野島に、海水を淡水化する我が国初めての簡易水道完成	
		11月	消費者情報ダイヤル開設	
		12月	松くい虫のため、市の指定文化財大道往還松を伐採	
1975	昭和50年	3月	終末処理場の管理棟完成	
		4月	新田公民館・学習等供用会館開館 中小企業振興条例誕生	
		5月	(財) 防府スポーツセンタープール完成、6月オープン	
		6月	市議会で暴力追放宣言を議決	
		10月	第12回国勢調査。世帯数30,684、人口105,540人 環境保全条例制定 韓国春川市と第1回交歓陸上競技大会を開催 (財) 防府スポーツセンター野球場完成	
		11月	鉄道高架事業調査開始	
1976	昭和51年	2月	山口県防府総合庁舎完成	
		3月	大平山牧場完成（団体営草地開発事業）	

西暦	元号	出	来	事
	昭和51年	4月	華城公民館・学習等供用会館開館 右田福祉センターが移転新築され、開館	
		5月	市制施行40周年記念式典	
		9月	市電算機始動式	
		10月	ブリヂストン(株)防府工場で1号製品生産される	
1977	昭和52年	2月	周防国衙跡で緊急発掘調査を開始	
		4月	ブリヂストン(株)防府工場操業開始 右田公民館・学習等供用会館開館 牟礼福祉センター開館 富海保育所開所	
		7月	防府バイパス第3トンネル貫通	
		8月	老人家庭や身障者家庭へ福祉電話を設置	
		9月	周防国府跡保存対策協議会発足	
1978	昭和53年	2月	公共下水道の供用開始	
		4月	玉祖福祉センター開館 西須賀保育所開所 新「新橋」開通	
		6月	防府市の人口が11万人を突破	
		7月	牟礼公民館開館	
		11月	桑山一帯が県の「鳥獣保護区」に指定される	
1979	昭和54年	1月	防府駅付近鉄道高架事業が決定される 天満宮で、宮大工の仕事始め「鉦始式」が100年ぶりに復活	
		3月	大平山ロープウェイ開設20周年を記念し「冒険の森」がオープン	
		4月	山口県立防府西高等学校が旧佐波小学校の仮校舎で開校 江泊保育所開所 新橋の新旧両橋が全面開通	
		5月	新広域市町村圏に山口・防府地区が指定される 知的障害者の通所授産施設「愛光園」が完成 山口身障者職業センター完成	
		8月	モデル定住圏に山口・防府地区が選定される	
		11月	粗大ごみ処理施設が運転開始	
1980	昭和55年	3月	防府バイパスの第1トンネル（梶野～末田）が貫通 天神山公園の整備完了	
		4月	水道局の新庁舎完成 知的障害者更正施設「大平園」、心身障害児簡易通園施設「なかよし園」が完成	
		5月	青少年問題のよき相談相手「ヤングテレホン防府」がスタート 防府バイパスの第2トンネル（末田～浮野）が貫通	
		9月	ブリヂストン(株)が第3期拡張工事に着手 山陽自動車道の大平山トンネル（梶野～下木部）が貫通	
		10月	第13回国勢調査。世帯数34,197、人口111,468人 華浦公民館・学習等供用会館開館	
		11月	上右田・勝間老人憩の家完成	
1981	昭和56年	3月	山口県立防府西高等学校の新校舎が大道に完成 山陽自動車道の天神山トンネル上り線が貫通	

西暦	元号	出	来	事
	昭和56年	4月	野島漁村センター開館 防府サイクリングターミナル完成	
		5月	障害者福祉都市の指定を受ける 市役所南庁舎完成（現4号館）	
		7月	新図書館が桑山にオープン	
		10月	市制施行45周年記念式典	
		11月	向島海岸道路（県道）供用開始 大道老人憩の家完成	
		12月	山陽本線防府駅付近連続立体交差事業、駅南地区土地区画整理事業が都市計画決定される 東洋工業(株)が中関工業団地で変速機工場の操業開始（マツダ(株)）	
1982	昭和57年	3月	佐波老人憩の家完成	
		4月	(株)ニチイ防府店開店 野島に本土から上水道が通水する 牟礼南小学校開校 防府バイパス（富海～高井間）開通	
		5月	市議会棟完成 向島公民館・学習等供用会館開館	
		7月	干天で水不足深刻、阿弥陀寺で43年ぶりに雨乞い供養が行われる	
		8月	周防国衙跡に史跡公園完成	
		9月	東洋工業(株)防府工場（西浦地区自動車組立工場）操業開始。（マツダ(株)防府工場）	
		9月	築地作業所に新しいゴミ焼却場完成	
		10月	種田山頭火の生誕 100年を記念して、山頭火展や句碑建立が行われる 牟礼南・華城老人憩の家完成	
1983	昭和58年	3月	防府駅付近連続立体交差事業が認可される 市営墓園（大光寺原霊園）が完成し、分譲を開始 「福祉都市」宣言	
		5月	山口県立中央病院が右田大崎へ移転オープン 市身体障害者福祉センター完成	
		6月	牟礼新長尾団地の宅地分譲を開始	
		7月	天神山森林公園開園	
		10月	市シルバー人材センター設立総会開催	
1984	昭和59年	3月	防府郵便局の新局舎完成 防府卸団地が浜方に完成 松崎・牟礼北老人憩の家完成	
		4月	市保健センター完成 野島航路へ新造船のしま丸就航 富海公民館、佐波公民館・学習等供用会館開館	
		5月	東洋工業(株)がマツダ(株)に社名変更 防府観光キャッチフレーズが「きんさんせ 天神様も ほれた街」に決まる	
		7月	三田尻中関港湾労働者福祉センター完成	
		9月	山陽自動車道「富海トンネル」の上り線が貫通	
1985	昭和60年	3月	山口地区（山口市・防府市・小郡町）がテレトピア地域に指定される 西浦・玉祖老人憩の家完成	
		4月	牟礼中学校開校	

西暦	元号	出	来	事
	昭和60年	4月		栄町商店街の「カリヨン通り」完成 三田尻保育所が移転・開所 9月 新築地町に魚市場が移転オープン 10月 第14回国勢調査。世帯数37,752、人口118,067人 12月 三田尻中関港整備事業、中関港区に水深マイナス12メートル岸壁が完成
1986	昭和61年	3月		山陽自動車道（徳山西～防府東インター間）開通 市民課窓口業務をオンライン化 4月 全国キャプテンシステムを導入 勝間公民館・学習等供用会館開館 5月 野島漁業集落排水処理施設の供用開始 市広報が1000号を達成 8月 防府中高年齢労働者福祉センター（サンライフ防府）が完成、9月から供用開始 通産省のニューメディア・コミュニティ構想応用発展地域に指定される 10月 市制施行50周年記念式典 山口地区キャプテンサービス開始 西佐波緑地完成 11月 防府貨物駅開業
1987	昭和62年	3月		三田尻大橋（鐘紡沖）開通 郵トピアのモデル都市に指定される 4月 小野公民館開館 5月 毛利博物館の新展示室完成 6月 防府21世紀のまちづくりを考える会発足 9月 防府駅付近連続立体交差事業起工式 12月 山陽自動車道（防府西インター～山口ジャンクション）開通 天神祭に「おんな御輿」が登場
1988	昭和63年	1月		初の子ども議会開催 2月 新しい本橋完成 4月 野島漁業集落環境整備事業・漁港施設整備事業が完成、竣工式を行う 6月 市新総合計画基本構想を策定 1月 防府バイパス全線開通 やまぐちコアポリス21プランを策定
1989	平成元年	3月		防府市新総合計画を策定 向島老人憩の家完成 4月 市公設青果物地方卸売市場完成 大道公民館・学習等供用会館開館 9月 山頭火生誕地がミニ公園に整備される
1990	平成 2年	1月		市役所第2・4土曜日閉庁 3月 防府合同庁舎、防府簡易裁判所庁舎完成 4月 山口・防府地域工芸地場産業振興センター（デザインプラザHOFU）完成 松崎公民館・学習等供用会館開館 皇太子殿下が中世史ご研究のため来防される 6月 三田尻中関港港湾計画見直し（沖合に人工島造成） 7月 中関3ノ舁に工場8社が進出 9月 下水道デザインマンホール蓋第1号を駅南町に設置

西暦	元号	出	来	事
	平成 2年	9月	防府市陸上競技場完成（11月に完工式）	
		10月	競輪場に防府レクリエーションセンター完成 第15回国勢調査。世帯数39,128、人口117,634人 駅北整備構想まとまる	
		12月	中関老人憩の家完成	
1991	平成 3年	3月	防府トラックステーション完成 中関トンネル開通	
		9月	台風19号が直撃、最大瞬間風速58.1mを記録。死者1名を含む大被害を受けるとともに 停電・断水等により市民生活に混乱をもたらす	
		10月	韓国江原道春川市と姉妹都市提携し、調印式を行う 市制施行55周年記念式典	
		12月	図書館でコンピューターシステムが稼働開始	
1992	平成 4年	1月	小野老人憩の家完成	
		4月	なまず公園完成	
		5月	三田尻塩田記念公園開園	
		10月	東大寺サミットが開催される 職業訓練センター完成	
1993	平成 5年	1月	富海老人憩の家完成	
		3月	佐波川堤防の桜づつみモデル事業完成	
		5月	市役所、週休2日制実施 米国シガン州モンロー市と姉妹提携し調印式を行う	
		6月	市役所の各出張所で、住民票等各種証明書のファックスによる発行サービス開始	
		10月	防府市武道館完成 鉄道高架下り線開通	
		12月	新田老人憩の家完成	
1994	平成 6年	3月	防府市新総合計画第2次基本計画を策定	
		4月	市内定期観光バス運行開始	
		5月	みなとぐち広場完成イベントとして、12万人の個展を開催 J R新防府駅が供用開始され、鉄道高架が全線開通	
		9月	し尿処理場完工	
		10月	ほうふふるさと大使を委嘱	
		11月	㈱イズミ開店	
1995	平成 7年	1月	阪神淡路大震災被災者への支援活動実施	
		2月	防府市男女共同参画審議会発足	
		3月	防府駅西に立体自転車等駐車場完成	
		8月	防府地域の11漁業協同組合が合併	
		9月	市行政改革推進本部設置	
		10月	第16回国勢調査。世帯数41,668、人口118,803人 テレホンガイド「ふれあいコールほうふ」のサービス開始 山口ケーブルビジョンが防府にエリア拡大の事業認可を受ける	
		12月	高規格救急自動車の運用開始 公共下水道古浜雨水1号幹線（シールド工法）完成	
1996	平成 8年	2月	防府駅付近連続立体交差事業竣工式、鉄道記念広場開場式及び時空の樹（ときのか）の 除幕式	
		3月	高架側道完成植樹式	

西暦	元号	出	来	事
	平成 8年	3月	ケーブルテレビの放映が、右田・牟礼の一部でスタート 市議会棟横に震度7まで観測できる地震計、また、消防署南出張所に科学技術庁の強度観測ネットワーク設置 大道大橋完成	
		4月	野島航路が1日3便になる 周防往還自転車道が完成、開通式を行う	
		8月	ほうふふるさと大使懇談会開催 市制施行60周年記念式典 防府市インターネットホームページ試験開設	
		9月	ケーブルテレビで防府市地域情報番組放映開始	
		10月	60周年記念事業として、てんじんぐちにアスピラート、井上山に青少年科学館を起工 女性議会開催	
		12月	新一般廃棄物最終処分場竣工	
1997	平成 9年	1月	一般廃棄物最終処分場供用開始	
		3月	てんじんぐち駅前広場完成	
		4月	行政手続条例スタート 大河ドラマ「防府・毛利元就展」オープン	
		9月	国分寺本尊の体内から室町時代の本尊の左手が発見される	
		10月	(仮称) 青少年科学館の名称がソラルに決定 防府市インターネットホームページ本格開設 紀宮殿下、全国ボランティアフェスティバルやまぐちでお成り	
		11月	わたしの提言箱設置	
1998	平成10年	3月	J R防府駅開業100周年	
		4月	防府市文化振興財団が業務開始 防府市青少年科学館(愛称ソラル)開館	
		5月	田の浦海水浴場が環境庁の「日本の水浴場55選」に選ばれる	
		7月	電算個人情報保護条例がスタート	
		9月	周防国府跡から国内最古の国府工房跡が出土	
		10月	県央2市3町が住民票広域発行開始 防府市地域交流センター(愛称アスピラート)開館	
1999	平成11年	1月	情報公開制度がスタート 周防国府跡から国司館跡を発掘	
		4月	大平山市民農園開園 ごみ分別収集スタート 国分寺の木造薬師如来座像とその体内から見つかった仏像の左手が国の重要文化財に	
		5月	三田尻湾の向島沿岸で干潟造成始まる	
		7月	市内共通商品券発行	
		8月	市内循環ショッピングバス運行開始	
		9月	佐波川大橋(仮称)起工。 台風18号、市内各地に大きな被害をもたらす	
		10月	切畑南遺跡より奈良～平安時代のものと見られる銅精錬炉跡を発掘	
2000	平成12年	2月	桑山「スケートスペース770」供用開始	
		7月	サイクリングターミナル開設20周年記念「サイクリングと塩づくりの集い」開催 周防国分寺金堂の礎石から、創建・再建(2回)時の金堂の規模が判明 三田尻中関港ガントリークレーン竣工	

西暦	元号	出	来	事
	平成12年10月	第17回国勢調査。世帯数43,367、人口117,724人 ペットボトルの分別収集スタート 生涯学習都市宣言 周防国分寺金堂の再建に係わる大工道具発見		
2001	平成13年	3月 周防国府跡から戸籍を記した木簡出土 4月 佐波川清流保全条例制定 5月 市制施行65周年記念式典 6月 水道給水50周年記念式典 7月 山口きらら博開幕「防府市の日」大盛況 全国花と緑のフェスティバル2001 in 防府開催 8月 三田尻女子高校バレーボール部高校総体優勝 4冠達成 9月 県央中核都市建設防府市推進協議会設立 10月 大相撲防府場所開催 天満宮で奉納土俵入り		
2002	平成14年	4月 放置自動車の発生の防止及び適正な処理に関する条例施行 空き缶等のポイ捨て及び犬のふんの放置防止に関する条例施行 観光情報館「コア銀座」オープン 8月 住民基本台帳ネットワークシステムの一部稼動 9月 周防国府跡から銅製の誕生仏出土 10月 都市景観条例施行		
2003	平成15年	1月 県央部合併推進協議会設立 2月 まちづくり活動拠点施設（天神ピア）オープン 3月 山口県央部合併協議会設立 新消防庁舎供用開始 4月 防府市斎場（悠久苑）オープン 防府市内幼稚園入園年齢制限の緩和特区が認定される 7月 主要県道防府環状線（防府湾岸道路）開通 天田遺跡（岩畠）から「釈奠」の文字が記された墨書土器が出土 8月 住民基本台帳ネットワークシステム（第2次サービス）稼動 宇佐八幡宮本殿・拝殿 防府市有形文化財に指定 11月 市民活動支援センターオープン 第1000回防府天神祭（裸坊祭）		
2004	平成16年	2月 防府駅でんじんぐち市街地再開発組合が設立認可 3月 新JR大道駅舎供用開始・自由通路開通 4月 小野小学校新校舎供用開始、牟礼小学校特別教室棟供用開始 大崎自歩道橋供用開始 多々良学園高等学校キャンパスを大道へ移転 2市4町法定合併協議会休止 5月 防府市の戸籍事務電算化スタート 産業再生機構がカネボウの支援を決定 7月 JR防府駅でんじんぐち西側に多目的広場オープン 8月 「夏期巡回ラジオ体操」陸上競技場で開催 防府市・春川市交流30周年記念事業として市民交流団が春川市訪問 10月 大平山山頂公園オープン 11月 周防国分寺平成の大修理完成		

西暦	元号	出	来	事
2005	平成17年	1月	防府市史全9巻完成（作成開始1986年）	
		2月	大道の「笑い講」、東京で開かれた「第5回地域伝統芸能まつり」出演	
		3月	駅北再開発ビル愛称「ルルサス防府」に決定	
		4月	県立中央病院が「県立総合医療センター」に改称	
		5月	佐波川河川敷で約950人が参加して大規模な水防演習実施 桑山中学校新講堂竣工	
		8月	佐波川に架かる橋「小野大橋」が完成	
		9月	台風14号襲来、市内沿岸部の一部地域に避難勧告発令される	
		10月	第18回国勢調査。世帯数44,958、人口116,818人 市教育委員会と山口大学エクステンションセンターが生涯学習推進の連携協同提携に調印	
		11月	姉妹都市韓国春川市より200人以上の市民交流団来訪、文化・スポーツ交流等を通じて親睦を深める	
2006	平成18年	1月	阿弥陀寺、周防国分寺で火災防御訓練開催。周防国分寺には、消防庁長官、文化庁長官が視察	
		2月	野島小学校校庭に、防府市出身の作家 伊集院 静さんの小説「機関車先生」の記念碑建立	
		7月	市街地再開発ビル(ルルサス防府)オープン	
		8月	「防府市安心安全情報システム」開始 防府市制施行70周年記念式典举行	
		9月	防府市学校給食センターによる中学校給食開始	
		10月	小野公民館が文部科学省より、「優良公民館表彰」を受賞	
		11月	市立図書館がルルサス防府に移転オープン 国民文化祭「防府大茶会」「文芸祭・自由律俳句/癒しの俳人 種田 山頭火」開催	
2007	平成19年	1月	第6回防府市音楽祭開催(11日～14日)	
		2月	防府市制施行70周年記念「NHKスポーツパーク松岡修三のテニスパーク」開催(17日)	
		3月	佐波小学校屋内運動場竣工(12日)	
		8月	市内の主要公的施設80か所にAED(自動体外式除細動機)完全設置 市内の小学校17校のうち14項に設置してあるすべての防火シャッターに安全装置を取り付ける	
		9月	第33回防府市・春川市交歓陸上競技大会兼第63回防府市市民陸上大会開催(1日)	
		11月	桑山中学校創立50周年記念式典举行(9日) 富海中学校創立60周年記念式典举行(10日)	
2008	平成20年	1月	第65回防府市内一周駅伝競走大会、FMわっしょいで中継放送。(13日)	
		2月	災害対応型自動販売機、牟礼・新田・向島・小野の4公民館に設置。(1日)	
		3月	ロックシティ防府ショッピングセンターが、カネボウ跡地にグランドオープン。(14日) 右田中学校屋内運動場竣工記念式典開催。(18日) 潮彩市場・防府が、新築地にオープン。(29日)	
		4月	防府市文化財郷土資料館開館。(4日)	
		5月	軽自動車税のコンビニでの納付開始。(1日)	
		6月	防府市と市内大型小売店4業者とが、防災協力協定締結。(6日・7月1日)	
		8月	防府市・周南市観光振興協定締結。(9日) 「おいでませ！山口国体防府市実行委員会」設立。(11日)	
		10月	「第4次防府市行政改革大綱」策定。(16日)	
		11月	エコドライブ・ステッカーを各戸配布。(1日)	

西暦	元号	出	来	事
2009	平成21年	1月	防府天満宮本殿・幣殿・拝殿が登録有形文化財に指定（8日）	
		2月	国道2号線上右田パーキングトイレ施設供用開始（1日）	
		3月	JR防府駅エレベーター完成（6日） 大道小学校屋内運動場竣工（16日）	
		4月	レジ袋無料配布を市内7業者23店舗で中止（1日） 毎週木曜の午後7時まで、窓口業務の一部延長を開始（2日） 同報系防災行政無線開局（16日）	
		6月	山口県宅地建物取引業協会防府支部と災害時における民間賃貸住宅の媒介に関する 協定締結（23日）	
		7月	中国・九州北部豪雨により市内で甚大な被害が発生（21日） 官民協働事業による市民便利帳完成（27日）	
		9月	防府市自治基本条例制定【平成22年4月1日施行】（29日）	
		10月	総務部に防災危機管理課を設置（1日） パスポート申請・発給窓口を市民課に開設（1日）	
		11月	防府市を舞台としたアニメ映画「マイマイ新子と千年の魔法」全国公開（21日～）	